

令和元年度

事業継続計画（BCP）策定研修事業
実施要領

厚生労働省医政局

令和元年度 事業継続計画（BCP）策定研修事業実施要領

1. 目的

東日本大震災や平成 28 年熊本地震を経て、医療機関においても事業継続計画（以下、「BCP」という。）の重要性が認識されており、その一環として、平成 29 年 3 月に改正した災害拠点病院の指定要件に、「BCPの整備」と「BCPに基づいた研修及び訓練の実施」が新たに追加された。しかし、多くの病院が、「BCPの整備のために必要なスキルやノウハウがない」「BCPの内容に関する情報が不足している」などの理由から、整備が進まない状況にある。

このことから、本研修では、災害時の診療拠点となる災害拠点病院等を中心に、事業継続計画策定に必要なスキルやノウハウ等を病院担当者等に習得させ、災害に強い医療提供体制の構築を図るものである。

2. 研修目標

- ・BCP策定の準備のための組織（チーム）づくりがわかる。
- ・BCP策定とBCP文書作成の基本的な手順（被害想定の設定、優先業務の選定、行動計画づくり等）がわかる。
- ・BCP文書をもとにした基本的な訓練と見直し（課題と今後の取組等の検討方法等）がわかる。

3. 受講対象者

病院においてBCP策定等に従事し、1病院あたり幹部職員（病院長、副院長等）及び実務担当者（事務職員等）の計2名で受講できる者を対象とする。

4. 受講者の推薦及び決定

受講者は、都道府県が前項に定める受講対象者のうちから選考し、別紙（1）による受講申込書を1部作成添付のうえ、厚生労働省医政局地域医療計画課長に推薦するものとする。

厚生労働省医政局地域医療計画課長は、都道府県から推薦のあった者のうちから受講者を決定し、都道府県に通知するものとする。

なお、受講者の決定に当たっては、災害拠点病院、または、災害拠点病院に準ずる役割を期待される病院でBCPが未策定の病院に所属する者を優先する。

5. 研修事業実施者

厚生労働省の委託により S O M P O リスクマネジメント株式会社が行う。

6. 受講定員、研修日時、場所

各回研修あたり 90～100 名程度とする（計 6 回 550 名程度）。

< 東日本地区 >

【東京会場】 損保ジャパン日本興亜株式会社 日本橋ビル会議室

令和元年 11 月 10 日（日）10 時 00 分～17 時 30 分

【仙台会場】 損保ジャパン日本興亜株式会社 仙台ビル会議室

令和元年 11 月 24 日（日）10 時 00 分～17 時 30 分

【名古屋会場】 損保ジャパン日本興亜株式会社 名古屋ビル会議室

令和元年 12 月 15 日（日）10 時 00 分～17 時 30 分

< 西日本地区 >

【大阪会場】 損保ジャパン日本興亜株式会社 肥後橋ビル会議室（大阪市内）

令和 2 年 1 月 31 日（金）10 時 00 分～17 時 30 分

【福岡会場】 損保ジャパン日本興亜株式会社 福岡ビル会議室

令和 2 年 2 月 7 日（金）10 時 00 分～17 時 30 分

【神戸会場】 損保ジャパン日本興亜株式会社 神戸ビル会議室

令和 2 年 2 月 14 日（金）10 時 00 分～17 時 30 分

7. 研修内容

別紙（2）の研修プログラム案を標準とする。

8. その他

- ・ 受講申込書に記載の内容については、厚生労働省より、委託先である S O M P O リスクマネジメント株式会社へ提供される。
- ・ 旅費、滞在費及び宿泊費については、受講者側の負担とし、受講するために必要な筆記用具等は受講者が持参するものとする。
- ・ 受講決定者には、決定後、S O M P O リスクマネジメント株式会社より所属病院の研修事務担当者に研修会場の案内図及び当日持参資料等に関する連絡事項が送付される。